

**令和3年度
小規模多機能型居宅介護サービス評価**

事業所自己評価一覧表

1. 参加人数： スタッフ14名（常勤13名 非常勤1名）
2. 個人アンケート配布： 14名（8月23日）
3. 個人アンケート回収： 14名（9月18日）
4. 職員会議の期間： 令和3年9月28日～10月25日（全5回）

◆実施事業所

社会福祉法人 友の会

小規模多機能ホーム 長根の森

（八戸市長根1丁目2-8 友の会福祉会館内3階）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 28日 (18:30~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 武石、沼畑、妻神、馬場、千田、古川、塚原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	○				14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 本人、家族 (介護者) へ送迎時など不安事がないか声掛けし得た情報を記録へ残し職員間で周知し支援へと繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>送迎時等に、家族へ利用者様のご自宅で変わった様子がないか声掛けを行い確認し、本人やご家族に対しコミュニケーションを図る事で信頼関係を気付く事で情報を得る事が出来た。また、契約やアセスメント実施時、ニーズの把握に努め、出来るだけ早い時期に、フェイスシートやライフサポートプラン等の回覧をし、情報を共有が出来た。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	○				14名
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	○				14名
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	○				14名
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	○				14名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用時に必要としている支援を行い、利用者の状態に合わせて支援をしている。 利用開始前に、ケアマネジャーがフェイスシートを回覧し、事前に情報を得る事が出来ており、また日々の申し送りの確認、ミーティングを通じ、利用者様の状態やケア方法の変更を職員間で共有している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 独居の方も居る為、送迎時等で情報を引き出せていないご家族もいる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域やご家族、かかりつけ医などと連携を図り、窓口をケアマネにしつつ、職員共同で情報の共有を行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月9日(17:30~18:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 武石、妻神、伊藤、古川、森田、塚原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			14人

前回の改善計画	・利用者の担当者よりケアプラン以外の目標を引き出し日々の関りから新たな、～したい実現に向け目的をもったケアプランを実行できるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアプランからライフサポートプランに切り替わり分かりやすいものになり、また、モニタリング評価等で担当利用者の目標となるものを決める事ができ、新たにプランに反映されている。全てとまでは行かないが、反映されたものを含め、普段の日常からも取り組めるものは実行出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		○			14名
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		○			14名
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		○			14名
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	○				14名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の目標に添ったケアは、概ね出来ている方もいたと思う。 ・掲げた個人目標に向けての働きかけ、関わる時は実施時の言動など、利用者本人の反応を記録や都度の報告をする事で、スタッフ間の情報共有が図れていた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・限られた利用者との関わりや対応が多くなってしまっている。 ・毎日の集団での余暇活動を行う事が多く、個人目標に向けての支援を意識して取り入れる時間が少なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・個別での対応は特定で出来ている方もいる為、現在できていない方の個別対応を増やす。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月9日(18:00~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 武石、妻神、伊藤、古川、森田、塚原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			14人

前回の改善計画	・担当者が知り得た情報を記録し職員間で情報共有し言語化出来ないニーズを支援へと繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	担当者に関わらず、スタッフで利用者の家族間との日々の関わりで知り得た情報は都度に報告し合い、共有が出来ており、記録にも残した上で支援にも繋げている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		○			14名
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	○				14名
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		○			14名
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	○				14名
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	○				14名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人や家族の意向を受け、スタッフ間の情報共有とその意向に添った支援が出来ていた。 ・ミーティングの場は勿論だが、変化があった時はその場その場で共有し、その後の対応もスタッフ間で相談し対応出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方についてフェイスシートで確認したり、コミュニケーションの中で聞いたりするが、10個と言われると把握出来ているか不確かである。 ・情報共有してもそのケアが続かない事もある。また、個々の職員がコミュニケーションで実践してみて良かったこと、悪かったことの共有が続かない事がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の知り得た情報を共有し、現在の生活が継続できる支援を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12日(17:00~17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 武石、沼畑、妻神、馬場、赤澤、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			14人

前回の改善計画	<p>・地域の方々と情報交流をもちながら必要とする利用者へは、高齢者支援センターなど活用していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>必要とする利用者へはケアマネジャーや管理者が中心となって高齢者支援センター等を活用する事が出来た。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		○			14名
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		○			14名
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		○			14名
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		○			14名

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通院内容を家族に報告したり、近隣の親戚にお薬をお渡しする等の支援が出来ている。 ・ケアマネジャーを中心に家族様等と密に連絡を取り合っている。 ・ご家族からご自宅の様子を聞き取っている。また送迎時に自宅で変わったことがなかった等聞いている。
--------	--

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や地域の資源等の支援を必要とする場合には、市役所、家族等あらゆる関連機関との連携を図るように努めているが、全ての利用者様に対して把握していない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>管理者やケアマネジャーが窓口になって必要であれば各関係機関と連携を図り、情報共有に努め、継続した支援を行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月12日(17:30~18:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 武石、沼畑、妻神、馬場、赤澤、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	○				14人

前回の改善計画	<p>・本人、家族のニーズを確認しながら、利用を必要としている方へサービスを手厚くし適時適所に利用できるよう支援に努める。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>ケアマネジャーがご家族様とのこまめな情報交換で、ニーズを確認し各スタッフが、日々の利用者様の変化の気づきをケアマネジャーに伝える事で、必要な支援を迅速に共有、実現する事が出来た。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		○			14名
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	○				14名
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	○				14名
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	○				14名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・本人、家族の要望を確認し、その時の必要としているサービスを提供できている。 ・家族の要望や利用者様の状態によって柔軟にサービスを提供できている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・家族ニーズと本人ニーズがうまく合っていないと感じる時がある。 ・コロナもあり、資源の活用があまり出来ない利用者様もいる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>本人、家族ニーズの把握に努めながら、柔軟なサービスの提供に努め、在宅生活が継続できるように支援をする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月22日(17:00~17:30)

6. 連携・協働

メンバー 武石、妻神、千田、伊藤、佐々木、田村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事参加で腕章など準備し一目で事業所の職員と分かるようにする。 登録者以外の方など地域住民が事業所へ来所され相談、交流をもてる雰囲気を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>新型コロナ感染症により地域のイベント自体が中止となる中、草取りなど限られた地域活動には人員を調整し、腕章を付けて参加出来ている。また、未だ登録者以外の方が事業所を訪れる機会は今中々持っていないが、新規利用になり得る方やご家族が来訪される事はある。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	○				14名
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	○				14名
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		○			14名
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			○		14名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新規、更新、区分変更時、サービス利用追加など必要に応じて各専門職と会議を開催し、情報共有に努めている。 支援センターからの要請に応じ、可能な限り日程調整して会議に参加している。 町内の草取りに参加し、腕章で施設の職員と分かるようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 元々訪れる地域の人も少なかったが、事業所でのイベントもないので、更に訪れる人もいない。 新型コロナ蔓延防止の為、町内会の活動やイベントの参加、地域住民との交流は図れていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域に向けたAEDや心肺蘇生法など「緊急時の対応」を開催し地域住民を招く事で、協働した取り組みを企画し実行する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月22日 (17:30~18:00)

7. 運営

メンバー 武石、妻神、千田、伊藤、佐々木、田村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の内容を各職員で地域との関りを確認し行う内容を実施していく。 事業所として地域の方に場所も含めて認知が依然として低いと感じられるので先ず、目につくように看板の設置を行う。他、地域の方の声を受け取り職員間でその声をどのように反映していくかを検討し地域の拠点として必要とされる取り組み方を職員間で話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>コロナ禍もあり、運営推進会議自体の開催が年度当初のみで、その後は開催出来なかった為、会議録などを職員への回覧が出来なかった。また、会館正面3階に事業所の看板を設置し、地域の方に少しでも認識して貰えるような取り組みを行ってきた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		○			14名
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	○				14名
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		○			14名
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		○			14名

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の申し送りや会議などで、意見交換が出来ている。 支援を展開する上で、業務上の調整が必要な場合には、上司にも相談し現場の意見へも専門職としての意見を求める事が出来ている。 ニーズに応じ専門職として、必要な支援かどうかを見極め、事業所の運営に活かしている。 長根の森の看板を設置し、わかりやすくなったと思う。また、長根の森新聞を地域に配布している為、活動内容が地域の方々にもわかると思う。
--------	---

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務の事などではなく、事業所のあり方について意見する事はない。 地域と交流する機会は殆どない状況。今年度は運営推進会議を数回開催する事が出来た為、その際頂いた意見・要望については優先順位をつけて取り組んではいるが、十分とは言えず。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議を有効活用し、協働での取り組むべき事案については、事業所として積極的に取り組む。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月25日(17:00~17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 武石、馬場、佐々木、佐藤、田村、赤澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			14人

前回の改善計画	・研修で周知した事は、自己の周知と他職員へも周知する事によって各自で振り返りをして意識を持つよう に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部で行った研修に関して、他職員へ研修内容の報告会を行い、全体で周知し実践することでスキルアップ に繋がられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加して いますか	○				14名
②	資格取得やスキルアップのための研修に参 加できていますか	○				14名
③	地域連絡会に参加していますか	○				14名
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		○			14名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修で外部の研修に参加できており、研修自体も積極的に組まれている。 ・資格取得やスキルアップのための研修は、必要に応じて参加している。 ・内部研修に参加し知識を得られるように努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会に参加が管理者、ケアマネジャーだけとなっている。 ・現状コロナのため、その様な会が開催されていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ひやりハットや事故報告書が出たら、当日中に対策を話し合い、全体で周知しリスクマネジメントに取り組 む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月25日(17:30~18:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 武石、馬場、佐々木、佐藤、田村、赤澤

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○			14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用者とのコミュニケーションで他者、家族の方が居てもプライバシーに配慮した会話内容で対応する意識をもつよう心掛ける。
前回の改善計画に対する取り組み結果	<ul style="list-style-type: none"> プライバシーに配慮した会話をするように努めている。 利用者様を不快にさせない様に意識を持ち、仕事にあたるように心がけている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない		○			14名
②	虐待は行われていない		○			14名
③	プライバシーが守られている		○			14名
④	必要な方に成年後見制度を活用している	○				14名
⑤	適正な個人情報の管理ができている		○			14名

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束ゼロ宣言を掲げ、身体拘束、虐待は行われていない。 プライバシーの配慮に努めた 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> トイレ誘導等で、人手が足りない時など「ちょっと待っていて下さい」と声を掛けスピーチロックしてしまっている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員が意識していない虐待に繋がりを言葉掛けや対応に言動に全職員で注意し合い、虐待や身体拘束の芽を摘む。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人友の会	代表者	大寫 泰雅	法人・事業所の特徴	八戸市の中心街である長根公園の向かいにあり、自然が豊かであるため四季を感じながら過ごす事が出来ます。個々の意向に合わせて通いサービス、訪問サービス、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ利用する事で在宅での生活が継続出来るよう支援しています。また、町内会への加入や地域行事への参加も積極的に行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム長根の森	管理者	武石 栄伸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	高齢者支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 (文書) 人	2 (文書) 人	4 (文書) 人	0人	0人	1 (文書) 人	0人	2人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	管理者・主任を中心に、意見を出しやすい環境作りを行う。業務にとらわれるのではなく、利用者の事を考えた計画を実行していく。	意見が出やすい環境になっている。その中で自分たちの日々の関わりについての振り返りが出来るようになってきている。	・利用者の事を中心に考えて計画されており、大変いいと思います。 ・補足文もあり分かりやすい。	前回の目標を継続し、月に1回のケア会議時に計画の振り返りを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	普段の掃除に加えて、感染防止のための消毒を午前1回、各食事前1回、午後1回、夜間1回と、時間を決めて行っていく。	決められた時間の消毒は行っており、定時以外にも気になった場合は消毒・清掃を行うことが出来ている。	・きめ細やかな消毒・清掃ができており、大変いいと思います。 ・パーティションが設置され、工夫が感じられます。	・前年度の計画を継続する。 ・接遇面で、虐待・身体拘束に繋がりがえる対応を行わないように全職員で取り組む・
C. 事業所と地域のかかわり	事業所での活動内容が分かりやすいような広報作成を行い、ホームページでも、こまめに発信していく。地域活動は、職員が偏らないように調整を行い参加していく。	個人情報保護目的で、HPの活動報告は利用者の表情が分からないようにするなどであるが発信を続けています。以前のものについては削除している。地域活動は町内草むしりの2回のみである。	・地域活動への協力ありがとうございます。 ・コロナの影響で町内の活動も低迷しています。以前のような交流が出来るようになればいいと思っています。	・地域に向けて、認知症や緊急時の対応についての勉強会や講習会を計画し実施する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	登録者の居住地が、市内様々な所に広がっているため、各居住地の支援センター、民生委員の把握に努め、協力体制を整える。	事業所が位置する地域の民生委員は、今年度から運営推進委員へ協力して頂いている。他の地域については支援センター中心に協力させていただいている。	・民生委員として、地域の情報の共有をしていきたい。 ・登録者の隣近所など、協力してもらうことはできないのか。	・居住地周辺の商店などに情報提供し、本人の生活を支えるための協力体制を構築する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	密にならない空間を確保し、運営推進会議を行っていく。事業所のある地域の民生委員にも会議の参加を呼び掛けていく。	事業所内での会議開催はできていないが、法人のホールが空いている時には、場所を借りて開催することが出来ている。	・会議の中で、地域の情報共有ができる時間を設けていただければ協力できると思います。	・地域の現状について話し合う時間を設けて、高齢者を地域で支えていく体制作り協力していく。 ・会議の内容は、議事録を通して、全職員が把握できるようにする。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>いざという時には、地域の方も必要になるため、参加できなくても、訓練の様子を見ていただけるよう発信していく。</p>	<p>コロナ禍の影響で、消防の立ち合いも行えていない状況であるが、計画的に訓練は行えている。地域の方が足を運ぶことはできていない。</p>	<p>・今年度は参加してみようと思っ ていましたが参加できませんで した。地域の消防団と連携しても いいと思います。</p>	<p>・地域の消防団と情報共有し、緊 急時には、お互いに協力できるよ うに努める。</p>
----------------------------	--	---	--	---